

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽なかまプリモ(音楽なかまアンジェリ)		
○保護者評価実施期間	令和6年(2024年) 12月20日		～ 令和7年(2025年) 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年(2025年) 1月6日		～ 令和7年(2025年) 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年(2025年) 2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	当事業所では、お子さまごと個別に、障がいの改善を目的とした音楽を用いた支援を計画し、サービス提供しております。	日々の保護者様からの聴き取りの内容を深め、職員と情報共有を進めてお子さまに合った支援を吟味して参ります。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しております。	様々な情報を集積・分析の上、個別支援計画書を作成し、保護者様へご説明しております。その際には、保護者様からの積極的なご意見を求め、それらを反映した計画に更新しております。	日々の保護者様からの聴き取りの内容を深め、職員と情報共有を進めてお子さまに合った支援を吟味して参ります。
3	こどもの活動等のスペースを十分に確保しております。	お子さま方の活動スペースは、プログラムの目的ごとに整備し、安全にご利用できるよう整えてしております。	日々の環境整備を怠ることなく、細かな点に危険が無いよう、また有効にスペースが使えるように点検を続けて参ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない、という現状があります。	お子さまと一緒に保育園等に訪問したいと考えますが、受け入れ先が見つけれない、という要因があります。	地域の施設へ、受け入れの働きかけを継続いたします。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信が足りない、という現状があります。	保護者様によって使用媒体が異なり、ホームページ以外の多チャンネルの情報発信が足りない、という要因があります。	ホームページを更新したので、このサイトを周知すると共に、公開情報の充実を図ります。
3			